

音楽科学習指導案

題材名「詩と音楽の関わりを味わおう」

〔学指要領：A表現（歌唱）ア、イ、ウ（イ） B鑑賞ア、イ 共通事項（1）ア〕

令和〇年〇月〇日（〇） 第5校時 第1音楽室
安中市立磯部小学校 5年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 題材の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・「待ちぼうけ」の曲想及びその変化と、音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	
思考力、判断力、表現力等	・「待ちぼうけ」のリズム、旋律、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、日本語の歌曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。	
学びに向かう力、人間性等	・詩と音楽との関わりを味わって聴いたり表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、日本語の歌曲に親しむ。	

2 評価規準

知識・技能	①曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。（鑑賞） ②曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。（歌唱） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。（歌唱）
思考・判断・表現	①リズム、旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。（歌唱） ②リズム、旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。（鑑賞）
主体的に学習に取り組む態度	①日本語の歌曲の音楽の特徴を捉えて表現したり、味わって聴いたりする学習を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習に取り組もうとしている。（歌唱、鑑賞）

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全4時間：本時第3時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「あわて床屋」「待ちぼうけ」の歌詞を音読したり、演奏を聴いて旋律を捉えたりしながら、日本語の抑揚やリズムと旋律との関わりを捉え、題材の課題を把握する。（あ） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 題材の課題 詩と音楽との関わりのお宝を見つけ、日本語の歌曲を味わおう </div>	●	○	○
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「待ちぼうけ」の1番から5番の歌詞を、イメージした情景が伝わるように繰り返し朗読し、気に入った場面を選択して、歌詞の特徴や言葉のもつリズムやまとまりを生かした歌い方の工夫を考える。（あ） 		●	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・前後の場面のつながりに着目し、自分たちの気に入った場面のよさや面白さがよりよく伝わるように、ふさわしい表現の工夫を考えて歌う。（あ） 	● ●		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の「待ちぼうけ」の演奏を聴き、演奏者の工夫を見付けながら日本語の歌曲のよさや面白さについてまとめ、題材全体の振り返りをする。（あ） 		●	●

* 活用する学習支援ソフト等：（あ）オクリンクプラス

4 教材曲の価値

【教材曲】「待ちぼうけ」（山田耕筰作曲/北原白秋作詞）

「待ちぼうけ」は、中国の古い寓話を基につくられた、日本語の歌曲である。歌詞の持つリズム感やまとまり、言葉の抑揚に合わせて旋律が付けられているため、歌詞の内容と曲想との関わりに気付いている児童にとって、言葉と音楽とが関わり合って生み出されるよさや面白さについて理解を深めながら聴いたり歌ったりすることができる作品である。また、物語を基にした歌詞の内容を手掛かりに、場面や情景を思い浮かべながら表現への思いや意図を持つことができる。思いや意図を基に表現を追求する過程で、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素とを関連付けながら歌い方を工夫して試し、確かめる活動を繰り返すことで、詩と音楽が一体となって生み出すよさや面白さを、一層味わいながら聴いたり歌ったりする能力を養うことができる。

II 本時の学習 (3/4)

1 ねらい 前後の場面のつながりに着目して歌い方を工夫する活動を通して、自分たちの気に入った場面のよさや面白さがよりよく伝わるように、歌唱できるようにする。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童の意識 [S]	主な発問 ○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(10分)</p> <p>＜めあて＞ 主人公の気持ちの変化がもっと伝わるように、工夫して歌おう。</p> <p>S : 1番から通して歌うと、主人公の気持ちの移り変わりが感じられるな。自分たちが選んだ5番は、4番を受けてどう変化させたらいいかな。</p>	<p>○歌詞から想像したことや音楽の特徴を捉えて歌い方を工夫したことを想起できるよう、印象に残ったフレーズ、前時に工夫した歌い方とその理由を問いかける。</p> <p>○前後の場面のつながりに着目し、表現への思いや意図を膨らませることができるよう、1番から5番までを通して歌った際に気付いたことや感じ取ったことと主人公の気持ちの変化との関連を整理して提示する。</p>
<p>2 前後のつながりに着目し、自分たちの場面の面白さをよりよく伝える歌い方を工夫する。(25分) 【★録音・再生】</p> <p>S : 4番チームは主人公の「待ちくたびれた気持ち」が伝わるように弱く歌っていて、自分たちの5番チームと弱く歌っている所は似ているな。変化を付けるために、もっと工夫できることはないかな。</p> <p>S : 「待ちくたびれた」4番から、「あきらめた」5番に変化するから、「がっかりした」様子が伝わるように、5番をもっと弱く歌うと良さそうだな。</p> <p>S : 試しに歌ってみたら、あまり変化がないような気がしたな。「がっかりした」様子を表すために、声の様子(音色)にも変化を付けてみたらどうか。</p> <p>○中間発表で互いの表現を聴き合う。 S : Bグループは3番から4番をだんだんゆっくりになるように工夫していて、主人公が次第に疲れていく様子がよく伝わってきたな。速さも工夫すると、より主人公の気持ちが伝わりやすい表現ができそうだな。自分たちのグループでも試してみよう。</p> <p>S : 「寒い北風」の部分を弱く、ゆっくり歌ってみたら、さっきよりも主人公の「がっかりした」様子を表すことができたね。</p>	<p>○表現への思いや意図をもち、それらを膨らませながら歌い方の工夫を考えられるよう、前後がつながるチームを組にしたグループを設定する。</p> <p>○自分たちが考えた歌い方の工夫のよさや面白さを実感しながら、主人公の気持ちの変化にふさわしい表現を追求できるよう、互いのチームの表現を発表し合い、気付いた工夫やそのよさについて伝え合うよう促す。</p> <p>○歌い方の工夫を共有してよりよい表現につなげられるよう、グループで出した意見をまとめ、ワークシートに記入していくよう促す。</p> <p>○思いや意図に合った表現に向かって、歌い方や発声の工夫を繰り返し検討することができるよう、録音、再生をして表現を確かめるよう促す。</p> <p>○他のグループの発表から、表現の工夫のヒントを得られるよう、グループの表現を意図的に紹介し、歌い方の工夫について、主人公の気持ちの変化との関連を問いかける。</p> <p>◆評価項目 (知②③) 歌唱及びワークシートの記述内容から、「主人公の気持ちの変化を手掛かりに、聴き取った旋律やフレーズの特徴を生かした歌い方について思いや意図をもち、それらに合った表現をするために工夫した歌い方で歌っているか」を評価する。</p>
<p>3 本時の学習内容の振り返りをする。(10分) 【★保存・提出】</p> <p>S : どのグループも、前後のつながりに着目すると、気持ちが変化していく様子がよりよく伝わる歌い方になったな。</p>	<p>○前後のつながりに着目し、主人公の気持ちの変化を表すために歌い方を工夫したことのよさを実感できるよう、印象に残ったフレーズについて、全員で歌唱するよう促す。</p>
<p>＜振り返り＞ S : 「待ちくたびれた」気持ちから「すっかりあきらめた」主人公の気持ちの変化を伝えるために、4番はゆっくりだけどやや強く、5番は4番よりさらにゆっくりして弱く歌ってみた。同じ「ゆっくり」でも強弱を変化させると雰囲気が変わることが分かった。自分たちの考えた歌い方の工夫が聴いている人にも伝わってうれしかった。強弱と速さ以外にもさらに工夫できることはないか、見付けたい。</p>	